

用地取得から完成まで

マンション収支管理

レックアイが専用システム

用地情報の入手段階で地主との交渉状況などを登録。用地の取得後はマンションの概要や経費を入力して事業収支のシミュレーションを作成、随時修正ができる。着工後も進捗よくに合わせて原材料費などを管理する。

システム構築費用は三千万円前後。社内の作業工程の見直しも必要で導入に八〜十カ月の期間がかかるという。マンション分譲業界はIT(情報技術)化が遅れており、市販の表計算ソフトを利用したり、手作業で対応したりする企業も多い。

不動産業務支援システムのレックアイ(東京・豊島、鈴木徳之社長)は、マンション用地の情報入手から企画開発、工事の完成まで一連の業務を管理するシステム「レックアイ」を開発した。一般の表計算ソフトよりも効率的に経費などの情報を管理。関係部署で情報を共有することで厳格な収支管理が可能になる。

レックアイはマンションの購入を検討している顧客の情報管理システムや、住宅の売買契約後の業務を一元管理するシステムを販売している。レックアイの商品化でマンションの用地仕入れから顧客への引き渡しまで対応できるとしている。

日経産業新聞 (3/26) 一面に掲載されました。